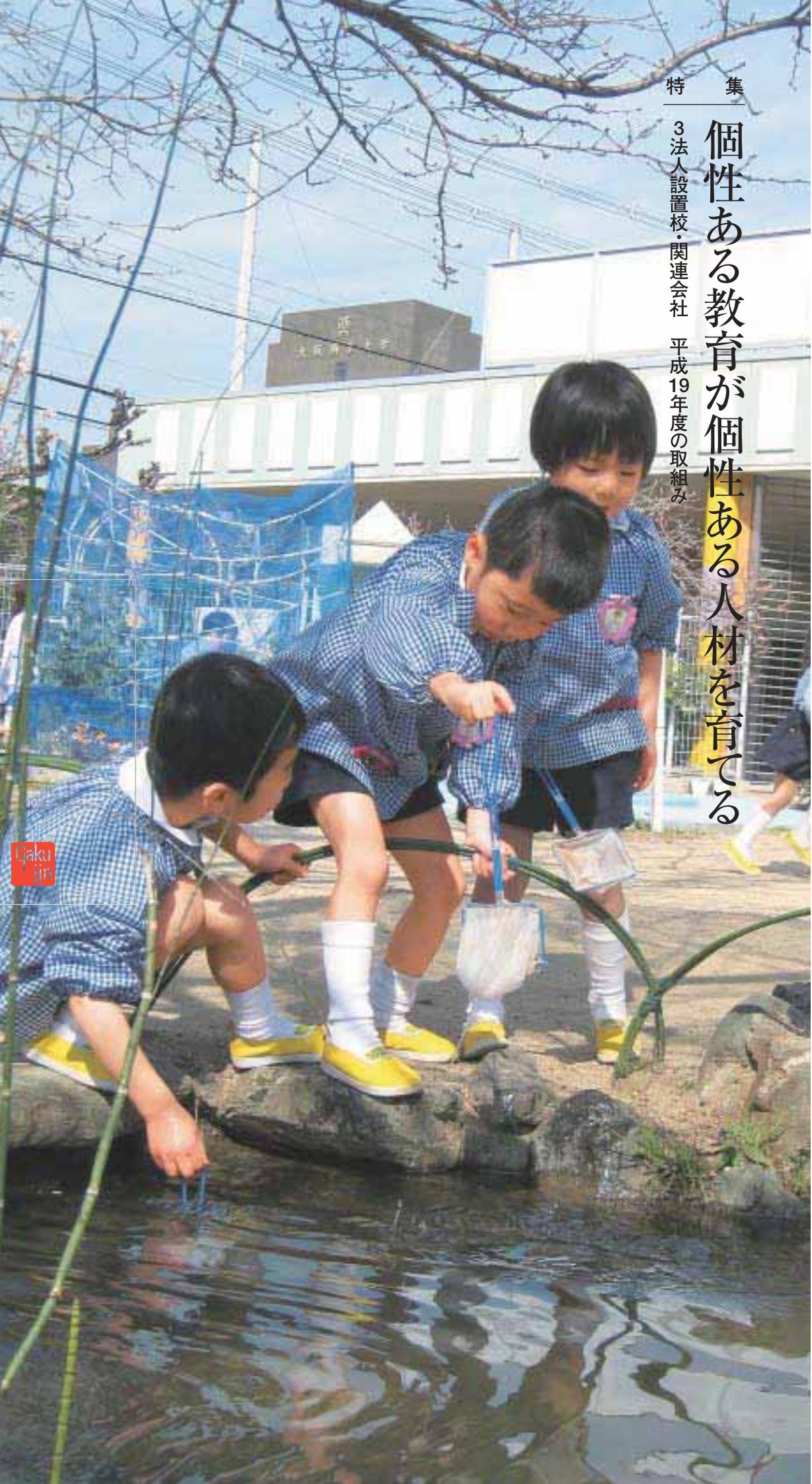


特集

個性ある教育が個性ある人材を育てる

3法人設置校・関連会社 平成19年度の取組み



March
Vol.28

楽人

樂人

特集

個性ある教育が個性ある人材を育てる

3 法人設置校・関連会社 平成19年度の取組み

法人本部

大阪商業大学／神戸芸術工科大学
大阪女子短期大学／大阪女子短期大学高等学校
大阪商業大学高等学校／大阪商業大学附属幼稚園
中京女子大学・同短期大学部／至学館高等学校
中京女子大学附属幼稚園／大阪商業大学堺高等学校
株式会社ティジー・テック／U・コミュニティホテル

トピックス

情報セキュリティポリシーの確立に向けて
芸術工学研究所の研究機能の移転について
大学における教員組織の編成及び職務内容が変わります
大商大附属幼稚園に隣接する高層マンション建設問題について

ニュース&アイル

大商大
神戸芸工大
大阪女子短大
大阪女子短大
大阪女子短大
大商大

「プレゼン型」企業セミナーを開催
「月刊神戸ウォーカー創刊ブレイブオリジナルCMコンペティション」を開催
生活デザイン専攻をライフプロデュース専攻に名称変更
公開講座「クリエイツ・カウンセリング」
卒業制作展
東大阪市教育委員会と連携協力協定を締結

クオリティ・オブ・ライフ～「聴く・聞く」ことの大切さ　～人と人をつなぐ第一歩～
各設置校の主な予定
編集後記

11

10

9

8 7 6 5 4 3 2

2



表紙の写真

大商大附属幼稚園の園庭でのスナップです。明るい日差し一杯の園庭でのびのびと遊ぶ様子は見ていてとてもほほえましく時間がたつのを忘れるぐらいでした。
園児は何気ない遊びから、いろいろなことを発見します。この園児たちも何か発見したのでしょうか。

教育力の向上

企画と実践、そして広報に繋ぐ
にむけて…

全 入時代を迎える学習意欲
に課題をもつ学生が増加
し、中途退学者や就業にためらう

大学院：社会の「一」ズに応え、
新しい専攻と新コースの設置を
企画

システムと教育活動に関する企画と実践を広報し、他学との差別化を図る。
従来から取り組んでいたキャリアアップと社会参画へのルートづくりを継続的にすめるとともに、とりわけ新入生が大学生活にすみやかにとけ込むために就学前と入学後1年間の学習の連携を深め取組みを行う。また、大学院は

開設から10年、学部で実践してきた教育プログラムをもとに新たな専攻を設置、地域貢献の実を挙げる取組みを行う。

学部：就学前学習、1年生の学習を体系的にとらえ、新入生の修学意欲と学習能力を高める。そのための施策として、社会生活をおくるうえで基本的に必要な読解力・集中力・説明力（文章力）の向上に必要な学習プログラムを学部教育に導入する。また、他者との連携を大切にし、学生活を有意義に過ごせるように、生活指導も組織的に行なう。

これら教育活動の企画、実践を広報し、本学の教育目的と人材育成の実績を理解した「本学で学びたい」学生の確保に努める。



taniokagakuuen



神戸芸術工科大学

- ・大学院芸術工学研究科の抜本的改革の準備
 - ・2学部6学科5専攻体制の充実
 - ・地域貢献・企業連携の一層の進展

昨年の4月に、満を持して開設した先端芸術学部も

昨 年の4月に、満を持して開設した先端芸術学部もどうやら順調な船出を迎えることができ、とくに、充実したスタッフを集めたマンガ・アニメーション専攻を中心に、メディア表現学科の人気は高いものがあります。また、教育スタッフの半分以上を入れ替え、カリキュラムも新しくして新設学科に近い充実を行ったビジュアルデザイン学科は予想を超える受験生を集め、「デザイン学部全体としても上昇傾向にあるようです。

さらに、去年の夏休みに行つたキャンパス全体にまたがるリニューアル工事によって、全体として明るく(夜はとくに)カラフルで、楽しい雰囲気をかもし出すのに成功しています。今年は各分野の実情を的確に把握して、この新しい体制をより充実させ、将来に向けて確かな基盤を作り上げたいと思ってい

際的に通用できる博士後期課程の充実、入学定員の増加、担当教員の有資格化、学部からの推薦進学者制度の導入、論文審査体制の確立、魅力あるカリキュラムへの転換など多様です。

国際交流については、現在進めている北京理工大学、韓国東西大学校との3カ国3大学の共同研究と学生交換を継続するとともに、新年度には台湾の大学と交流協定を締結する予定です。また、卒業した留学生のデータベースを作成し、卒業生のネットワークを構築することも一つの目的です。本学も仕掛け人の一人になつて昨年動き出した神戸ビエンナーレが、今年10月に開催されるにあたって、その企画・運営に協力していますが、さらにアート作品の参加を教員、学生たちに働きかけており、神戸における本学の存在感を示したいと願っています。

隠れていた大学院の抜本改革を来る
平成20年4月に実現するための準備
をするのです。すでにほぼ確定して
いるその内容を紹介すると、先端
芸術学部の専門分野に対応できる総
合アート専攻(修士課程)の設置、国

学生たちを中心とし、先生たちが応援している地域貢献・企業連携をさらに活性化したいと考えています。具体的には、県下各地に残る地場産業へのデザインを通して協力・商店街の活性化運動、中高生を巻き込んだアートイベントの開催などで、じつした活動は教育上有効なだけでなく、大学の将来に關わる重要性を持つと思うからです。

大阪商業大学高等学校

必ず実を結ぶ

危

機感は持つているが悲觀はしていない。現在の大商大高校を一言で言えばこうなります。今春の入試では、一層の少子化が進みました。ただし、新「ース(進学)ヘップコース(共学)」で、専願受験者の増加と共に女子受験者数増加を目指んだのですが、これらは達成できず、女子生徒は21名合格(2名の減)、専願受験者は20名の減となりました。が、これまで進めてきた学校改革は間違いではなかった。「これを継続すれば、必ず実を結ぶ」と感じています。これまでの努力の結果、大阪商業大学84名、神戸芸術工科大学13名の合格をいただきました。また、系列大学以外では3月12日現在、関西大学8名、甲南大学2名、京都産業大学2名、龍谷大学7名、近畿大学16名、和歌山大学、徳島・鳴門教育大学、損南大学、第一薬科大学、沖縄大学、青森大学、関西外國語大学各1名、大阪産業大学16名、大阪工業大学3名、桃山学院大学20名などの合格も果たしています。また、「デザイン部門」では、全日本中学生・高校生「デザインコンクール(大阪府「コクール」)」で優秀賞、第7回エンターテイメント・パーカージ・アワードでは努力賞を獲得しています。

全商簿記検定では総合1級4名、

会計科目1級9名、原価計算科目1級3名、さらに2級50名の合格者を出しています。

また少人数制英会話授業の成果として、英語検定では準2級合格者27名(昨年比17名増)も出ています。

昨年は、学校を取り巻く問題が盛んに報道されました。問題の原因は広く、深く、「どうか手をつけてよいのか」と考え込んでしまいます。問題の中には、初期対応に失敗したため大きな問題になったケースも多くあると思われます。本校では、保護者との信頼をいかに深めるかに焦点を当てて、活動していくかないと考えていました。保護者の支援があれば、困難な問題にも向かっていけますし、教育活動そのものが円滑に進められると確信しています。

また、本校に入学しながらも、不登校などの理由で退学を余儀なくされる生徒に、本校での学習機会を与えるため、通信制単位制高校の設立を研究する1年にしたいと考えています。

生活指導面では、遅刻を減らす取り組みを継続するとともに、思いやりと礼節を前面に押し出して、これまで以上に挨拶やマナーを向上させます。

平成18年度は、外部講師による教員研修(全教員対象)を行うとともに、中堅教員研修も実施しました。5年後、10年後に備えて、学校・教員の実力向上につながるものなど確信しています。

会計科目1級9名、原価計算科目1級3名、さらに2級50名の合格者を出しています。

また少人数制英会話授業の成果として、英語検定では準2級合格者27名(昨年比17名増)も出ています。

昨年は、学校を取り巻く問題が盛んに報道されました。問題の原因は広く、深く、「どうか手をつけてよいのか」と考え込んでしまいます。問題の中には、初期対応に失敗したため大きな問題になったケースも多くあると思われます。本校では、保護者との信頼をいかに深めるかに焦点を当てて、活動していくかないと考えていました。保護者の支援があれば、困難な問題にも向かっていけますし、教育活動そのものが円滑に進められると確信しています。

また、本校に入学しながらも、不登校などの理由で退学を余儀なくされる生徒に、本校での学習機会を与えるため、通信制単位制高校の設立を研究する1年にしたいと考えています。



taniokagakuen



大阪商業大学附属幼稚園

2学級の 3歳児保育開始。 立派な卒園生輩出を目指して

◎3歳児学級増の開始

幼児は成長と共に外界の物・人に興味を示すようになります。そして、3歳ころから自分と同年齢の子どもとの関わりをも求めるようになります。こんな3歳児の周囲に同年齢の幼児がいる状況を作りあげることは、きわめて大切ことです。昔は地域が3歳児にこのような環境を提供していました。しかし、今は地域にこれを求めるることはできません。

3歳児保育はこのようないいやりと礼節な時代的要請から各幼稚園で実践されているのです。

大商大附属幼稚園の3歳児学級は、30人定員1学級でした。しかし、毎年30人を超える応募があり苦慮していました。

この度保育室を増設し、平成19年度より50人定員2学級の3歳児保育を始めます。立派な卒園生を多数輩出することを目指して、3歳児保育をより充実させる年度にしたいと考えます。

3歳児学級は、30人定員1学級でした。しかし、毎年30人を超える応募があり苦慮していました。

この度保育室を増設し、平成19年度より50人定員2学級の3歳児保育を始めます。立派な卒園生を多数輩出することを目指して、3歳児保育をより充実させる年度にしたいと考えます。

大商大附属幼稚園では、建学の理念“を保育の中で生かすこと”を平成7年度より取り組んできます。しかし、子ども達の育ちが果たして、建学の理念“を反映したものになっているかを検証する

作業が十分に行われてきませんで

した。

そこで、平成19年度から次の視点で子どもの成長を点検することに取り組みます。この点検を通して、建学の理念“をより反映した保育カリキュラムの開発に向かいたいと考えます。

・人間関係力が育ったか

・育まれているか

・文字・数量・形・時間・空間などの感覚が豊かになつたか。

・基本的生活態度が身についたか

・直接体験や経験を通して

・学ぶ力がついたか

・見る力・聞く力・話す力が育つたか

基礎的実学

・育まれているか

・想像する、予想する体験を通じて

・見る力・聞く力・話す力が育つたか

・成長していく自分を感じて

いるか

・大事にされている自分を感じて

いるか

大商大附属幼稚園では、建学の理念“を保育の中で生かすこと”を平成7年度より取り組んできます。しかし、子ども達の育ちが果たして、建学の理念“を反映したものになっているかを検証する

・成長していく自分を感じて

いるか

・大事にされている自分を感じて

いるか

・想像する、予想する体験を通じて

・見る力・聞く力・話す力が育つたか

・成長していく自分を感じて

いるか

・大事にされている

追求女生 らしさの



chukyojoshidaigaku

【ホットニュース】 英検準1級合格!!
うれしいニュースが今、飛び込んできました。これで、今年度は準1級1名、2級12名、準2級18名の合格となりました。生徒のがんばりと先生の応援に心から感謝します。



至学館高等学校

未来への扉 至学館高等学校が描く

「どんな学校をめざしているのか」
生徒第一の「生徒のための学校を創ろう」というのが教職員全員の合言葉です。校舎やグランドが至学館高等学校ではなく、そこに学ぶ生徒たちが至学館高等学校そのものです。全ての生徒が成長していくためには、授業や部活動など様々な教育活動と、これを効果的に運営するための仕組みが予定されています。

そのひとつの中京女子大学の形としては、今年度本学硬式野球部が大学硬式野球部で日本初の女子単独チームとして、愛知大学野球連盟のリーグ戦で念願のデビューを果たしました。まだまだ男子との壁は厚いものがありますが、次年度から新メンバーも加わり「めざせ勝」を合言葉に2年目の挑戦が始まります。

一方、19年度から人文学部には男子学生の入学者が予定されており、新しい風を吹き込んでくれるという期待感があり、中女の歴史に新たなページが刻まれます。また、本学の売りの一つでもあるスポーツ分野への特化を図るために、短大の生活科学科を募集停止し、それに伴い体育学科の定員増を行なってからアスレティックトレーナー（日本体育協会公認）の養成課程を有する専攻科の設置が予定されています。

国際交流関係においては、これまで以上の活性化をめざし、8校目となる姉妹校提携を華南師範大学と締結することとなりました。

※「中女憲章」：
「つ、わたしたちは、明るく元気をもつてします。

「つ、わたしたちは、常に自分の可能性を追求します。
つ、わたしたちは、何事にも積極的にチャレンジします。

選手たちの目は生き生きとしており、中女生らしさがみなぎっています。

一方、19年度から人文学部には男子学生の入学者が予定されており、新しい風を吹き込んでくれるという期待感があり、中女の歴史に新たなページが刻まれます。また、本学の売りの一つでもあるスポーツ分野への特化を図るために、短大の生活科学科を募集停止し、それに伴い体育学科の定員増を行なってからアスレティックトレーナー（日本体育協会公認）の養成課程を有する専攻科の設置が予定されています。

国際交流関係においては、これまで以上の活性化をめざし、8校目となる姉妹校提携を華南師範大学と締結することとなりました。

一方、19年度から人文学部には男子学生の入学者が予定されており、新しい風を吹き込んでくれるという期待感があり、中女の歴史に新たなページが刻まれます。また、本学の売りの一つでもあるスポーツ分野への特化を図るために、短大の生活科学科を募集停止し、それに伴い体育学科の定員増を行なってからアスレティックトレーナー（日本体育協会公認）の養成課程を有する専攻科の設置が予定されています。

国際交流関係においては、これまで以上の活性化をめざし、8校目となる姉妹校提携を華南師範大学と締結することとなりました。

そのひつの形としては、今年度本学硬式野球部が大学硬式野球部で日本初の女子単独チームとして、愛知大学野球連盟のリーグ戦で念願のデビューを果たしました。まだまだ男子との壁は厚いものがありますが、次年度から新メンバーも加わり「めざせ勝」を合言葉に2年目の挑戦が始まります。

一方、19年度から人文学部には男子学生の入学者が予定されており、新しい風を吹き込んでくれるという期待感があり、中女の歴史に新たなページが刻まれます。また、本学の売りの一つでもあるスポーツ分野への特化を図るために、短大の生活科学科を募集停止し、それに伴い体育学科の定員増を行なってからアスレティックトレーナー（日本体育協会公認）の養成課程を有する専攻科の設置が予定されています。

国際交流関係においては、これまで以上の活性化をめざし、8校目となる姉妹校提携を華南師範大学と締結することとなりました。

中

女生らしく生き生きとし
た大学生活を送つてもら
いたい先輩たちが考えた「中女
憲章」は、毎年入学式で後輩たち
に唱和されおり、19年度も元気
で活力に満ちた学生の育成をめ
ざします。

そのひつの形としては、今年度本学硬式野球部が大学硬式野球部で日本初の女子単独チームとして、愛知大学野球連盟のリーグ戦で念願のデビューを果たしました。まだまだ男子との壁は厚いものがありますが、次年度から新メンバーも加わり「めざせ勝」を合言葉に2年目の挑戦が始まります。

一方、19年度から人文学部には男子学生の入学者が予定されており、新しい風を吹き込んでくれるという期待感があり、中女の歴史に新たなページが刻まれます。また、本学の売りの一つでもあるスポーツ分野への特化を図るために、短大の生活科学科を募集停止し、それに伴い体育学科の定員増を行なってからアスレティックトレーナー（日本体育協会公認）の養成課程を有する専攻科の設置が予定されています。

国際交流関係においては、これまで以上の活性化をめざし、8校目となる姉妹校提携を華南師範大学と締結することとなりました。

明

治38年（1905年）学園創立から102年目の2月23日、附属の至学館高等学校では、女子校として入学した最後の卒業生が卒立ち、伝統と歴史を刻み続けた「中京女子」は「つ」の扉を開じました。

男女共学校「至学館高等学校」になつてから丸2年が経とうとしています。時代の「つ」に応え、「新しい教育にチャレンジしよう!」と考え、3年前にプロジェクトを立ち上げました。できる限り生徒を閉じました。

ですがこれにあります。

そこで、教師自身が工夫しながらやって見せ、言って聞かせる。そして、実際にさせてみて、要める。理屈でもなく、傍観者にならず、討論家でもない。生徒の番ないと体育祭をこう呼びます)の運営な

を計画しています。この授業では、心と体のヒーリングをテーマにツリークリミングプログラムを取り入れたツリーセラピーで学生たちに木の素晴らしさを実体験を通じて伝えていきます。今後も明るく元気で、たくましい学生の育成をめざし、「教える」から「育てる」へ軸足を移し、さらなる「人間力」の開発に取り組んでいきます。

一人ひとりが満足のいく取組みをしようと、不安を抱えながらも、みんなでがむしゃらに大きく重い扉を叩きました。お蔭様で、私たちの予想をはるかに上回る志願者が集まり、元気いっぱいの生徒たちが、自分たちの手で扉を押しあげ、至学館ワールドをくり広げています。

その結果、生徒たちが「明るく元気」に生き生きと、そして伸び伸びと「何事に対しても本気で取り組む」そんな集まりでありたいと考えています。

單によい大学へ入るための勉強や、試合結果を求めるだけのクラブ活動を求めるならば、どこの学校でも学べます。19年度は、至学館高等学校の1期生が、受験や就職する年となります。大学・短大は「つ」の通過点として、その先を見越した至学館ならではの「キャリア教育」を開拓し、人としての温かく、思いやりを育む「人間教育」ができる学校。そこに向かって、二歩二歩階段を昇り、進んでいきたいと思います。

中京女子大学附属幼稚園

中

「どの子も幸せにする教育」
「子どもの幸せにする教育」

を紹介します。

「子どもを幸せにする」つ目の大切さ」とは「親切で丁寧な指導」です。幼児期の子どもたちは好奇心が旺盛、なんでも「やってみたい」と思う時期ですが、逆にうまくできないと「もうできない」と自信を失ってしまう」とも多いです。いつたん自信を失くしてしまつと様々な場面でも消極的になってしまいます。

年長。5月の家族参観には人組づ保護者に『my竹馬』を作つてもらいます。お家の方が子どもたちの目の前で作ってくれ

た竹馬に、今度は子どもたちが挑戦します。竹馬のりは勇気・タイミング・バランス・さまたまな子どもたちの能力を伸ばすのに適している遊び道具教材だといま

す。でも「見簡単そうに見える竹馬のりはそうそう簡単にできるものではありません。毎日、コツコツ練習してひとり、またひとりで

きていくわけですが、乗れるまでには、子どもの数分、ドラマがあり

ます。私たちも決して無理には誘わず、子どもたちがやる気にな

るように、さまざま「しかけ」をします。そして子どもがやる気になったとき、子どもと向かい合い、

真剣勝負が始まります。子どものつまづきを発見し、一人ひとりに適切な助言を与え、どの子もできる指導をします。できたときの子どもの表情にはなんともいえない喜びと自信がみえます。この竹馬の活動で、もうひとつ大切にしている事は「できない」ことに挑戦し、

できるまで頑張る力」を育てる事です。

「どの子も幸せ」

です。そして、
クラス全員
達成も目標

にしています。
間が同じ課題に挑戦し、
達成して身

についた力は、
ただ竹馬に
のれるよう

になつたとい
うことだけではなく、子どもたちの
将来生活の自信と土台になると、
信じています。

二つ目には「体験を重視した課業と総合活動」です。

幼年期はものの考え方の基礎を養う過程で、最も「原体験」が大切な時期だとも言えます。日常

栽培活動(サツマイモ・たまねぎなど)をします。そして収穫した野菜を調理して食べる」とを行っています。また、川や山に囲まれた

つもと違う場所での年長合宿活動は、自然や生命に対する優しい

気持ちを育てたり、考え方や深みや幅ができることがあります。そ

して、少年期から青年期で発達す

るといわれている抽象思考に影響

を与え、やる気とたくましさと思

いやりのある子どもに育っていく

ことでしょう。



seiryogakuen



chukyojoshidaigaku

大阪商業大学堺高等学校

本

校は平成17年度、男女共学及び新しい4コース制特進エキスパート特進アーバン・グローバル・スポーツを中心とした改革を行いました。平成19年度は、改革後の新しいコース制で入学した生徒たちで、3学年がそろいます。制服もこの2年間は、校内に2種類ありました。2つの制服に統一されます。そして、年度末には新しいコース制の生徒が卒業します。卒業生の進路状況によって、各コースの特徴や目標に対する達成度が世に問われるところになると考えてい

ます。

本校は、この改革とともに、生徒募集が過性ではなく、継続的な成功を得るために、内部の充実を図ってきました。まず、授業を改善するために、時間講師も含め全教員による公開授業を年間2回実施し、教科内で意見交換会を持つています。また、学期末には授業アンケートを実施し、各自が授業改善の資料としています。



改革の成果を發揮する年

数・英・社・理)を習熟度別クラス編成で実施しました。その間、全教員出勤態勢としています。

また、平成16年度に特進コース委員会を立ち上げ、生徒の進路意識や学力、進学実績を高めるための方策を研究推進しています。

具体的には、先述の特別編成授業の内容や、特進クラスの意欲を高めるためのクラス編成等を工夫。学期毎の考查や外部模擬試験の全体と個々の学力分析等情報を各教科や担任、学年に提供。また、各教科担当へ大学の入試問題やセンター試験の問題分析に取り組むような働きかけ。教科担当を含めた情報交換会や学力検討会を開催。個々の生徒の進路相談、学習指導等広く活動しています。

さらに、平成19年度以降の3年生3学期について、大学の一般入試やセンター試験、国公立の2次試験受験者が集中して学習に励むことが出来る環境づくりや、受験指導や支援体制づくりについて全教員で話し合っています。

このように、平成19年度改革一学期の進路に向けて、全力で取り組みをしていきます。

また、学習面や進路指導とともに、制服を正しく着用することや規律正しさを身につけさせるよう取組みを強めます。特に、遅刻が增加しているので、遅刻を減少させるように、学校全体で取り組みを考えていく

特に、特進コースでは、授業時間を増やすために、1、2学期の期末考査終了後と8月末の1週間、年間28日間の特別編成授業を実施しました。内容は、1年生は3教科(国・数・英)、2年生は5教科(国・数・英・社会)

校は子どもたちとの様々なかわいいの中、自らの気持ちも元気になり、豊かな人生にしていくのです。

このはどの子も幸せにして、先生も幸せにする幼稚園です。

当

社は、平成8年1月、学校法人谷岡学園を中心とする
校法人中京女子大学、学校法

人清陵学園等の谷岡学園グループの出資により「収益事業を目的とする企業」として創設されました。設立の主眼は、グループ全体で

当社並びに当社員は、この基本合意に基づき努力して参りましたが、現状、その成果は満足できるものではありません。学園との双方の発展に寄与するため、より積極的な提携を図り、全面的な協力体制の確立を目指して努力いたす所存です。

卷之三

当 ホテルは平成12年5月
谷岡学園が収益事業として、また教職員の福利厚生・研究助成施設を目的として取得し、今 日に至っています。

あります中国をはじめとする主に東アジアの国々からの旅行客の獲得強化を行って参ります。

その他、地元を中心とした営業活動もこれまで以上に行つて参ります。

が、当社の取扱業務内容の概略は、物品販売・調達業務・旅行取扱業務・保険代理店業務・喫茶店・ケータリング業務、各種イベント企画運営業務、自動販売機業務等を中心として営業していますが、昨春

A large photograph of a bright hotel room featuring two double beds with red floral bedding, a wooden headboard, and a window with a valance. An inset image in the top right corner shows a view of a street with outdoor seating.

19年年度は次の3本の柱(1.学園とのコラボレーション、2.施設の改裝改修工事、3.本の柱)により、実績の向上と強化と顧客満足度を

3. 学園との「ラボレーシヨン」
これまで、大阪商業大学との
オープンキャンパスや実験時に
おける宿泊支援を行っており
ますが、19年度は各設置校様
への研究活動支援を積極的に
行って参りたいと考えます。

設立目的を追求するに際して、
平成12年4月谷岡学園との間で、
概略次のような「業務推進に関する
基本合意」を締結しました。

可能な範囲で情報・資料の提供
その他の支援を行う。
② 当社は谷岡学園グループの物品
調達等の業務を、スケールメリット
トを生かすことで経費削減に
努めること。

③ 当社は、谷岡学園グループに教
育研究支援として、利益の還元

物品購入も可能となつておりますので、是非ともご利用ください。

皆様のご希望に全て応えることができるか、多少不安なところもありますが、「困ったとき」、欲しいときは「ティン・ラックへ」連絡してみてください。お待ちしております。



U・コミュニティホテル

1. 営業力の強化

今後も私共従業員全員が「おもてなしの心」で一人でも多くのお客様にご満足いただけるよう、上質の高いサービスを目指して参ります。

学園グループの一員として
目指す方向

一人でも多くのお客様に
ご満足 いただけれる
ホテルづくりを

芸術工学研究所の 研究機能の 移転について



す

同研究所ビルは平成3年に谷岡学園神戸総合研究所として設置され、学園の研究機関として、産官学の研究交流の拠点となっていました。その後、名

す
でに新聞報道等でご存知の方
も多いかと思いますが、神戸・
ポートアイランドを拠点に産
官学協同研究等の活動を行ってきた神戸
芸術工科大学附置研究所の芸術工学科
研究所の研究機能を、神戸キャンパスの
同大学内に完全移転することになり、
同研究所ビル並びに敷地を隣接するフ
ジッコ株式会社に売却することとなり
ました。

称変更を経て、平成11年10月には同大学附置研究所の芸術工学研究所となりました。が、同様に産官学の研究交流拠点の役割を担つてきました。

同研究所はこれまで、芸術工学及びその応用に関する研究を通じ、商品・製品開発、都市環境デザイン、メディア・デザイン等の各種デザインの制作並びに研究を行つてきましたが、ポートアイランドにおける研究拠点として一定の役割を果たしたとして、昨年より神戸キャンパスに研究機能の移転を行つてきました。

今後はこれまでとは異なり同大学と同じキャンパス内にある研究所として、その機動性を生かした研究活動の拠点となることが期待されています。

情報セキュリティポリシーの確立に向けて

等の事業運営に必要な情報環境の安全性を確保するためには、情報基盤の整備に併せて、情報資産のセキュリティ確保が不可欠であります。

情報セキュリティの大切さを本学園の全構成員が十分に認識し、情報資産を守り、併せて情報資産の活用を行うため、「情報セキュリティポリシー」に関するガイドライン(平成12年7月18日)「戦略本部 情報セキュリティ対策推進会議決定」を踏まえて、本学園は各設置校毎に「情報セキュリティポリシーの制定」への取組みを開始致します。

全学的な取組みを開始する前に、まずは教職員において「情報セキュリティとは?」「情報セキュリティポリシーとは?」「情報セキュリティと個人情報保護法との関連は?」というような点について共通認識を持つて頂くこと、「情報セキュリティポリシー制定」のために各構成員の役割を担つて頂くために必要なこと、また進め方について理解を得るために、キャンパス毎に情報セキュリティ専門の外部講師に依頼し、研修会を実施致しました。

度情報化社会において、本学園が教育・研究及び事務管理

まず昨年12月25日には神戸キャンパスにて約50名の参加、本年2月5日には東大阪キャンパスにおいて約80名の参加者を得て実施致しました。藤井寺キャンパスにおいても3月12日に実施されています。

- (1) 各設置校において情報セキュリティ委員会を設置して実施計画の策定を行います。

(2) 各構成員が持っている情報資産の洗い出しを定められた手順により実施します。

(3) 洗い出しの結果を基にして、各設置校に合ったポリシーの策定を行います。

(4) 出来上がった「情報セキュリティボーリンゴー」を宣言し、公開を行います。

(5) 教職員が事業運営の中で必要なDCAを行い、情報セキュリティを保持します。

(6) 一定期間毎に委員会や第三者機関での点検評価・見直しを行います。

(法人本部情報推進課)

大商大附属幼稚園に隣接する 高層マンション建設問題について

現 在、大阪商業大学附属幼稚園に隣接する土地に高層マンションの新築工事が問題となっています。株式会社日商エスティムがデベロッパーとなり、同幼稚園の南東側に高層マンションの建築が進められており、現在の計画では同マンションがつくる建物の影が同幼稚園に広範囲にかかることがあります。特に冬期においては午前中を中心に広い範囲で園庭が日影になると予測されますが、また日照にかかる影響とは別に、これまで周辺地域ではこのような高層建築ではなく、高層建築による視覚的圧迫が園児に与える影響が懸念されます。

学園は同社に対して、建物が同園へ及ぼす日影の範囲を極力少なくてすること、工事時間や安全対策等にかかる要望を提出しましたが、同社からは誠意ある対応が見られませんでした。これを受け、学

園では東大阪市、同市教育局委員会、議会に対して要望書を提出するなどとともに、今後も継続して働きを続ける予定です。

この度の建築計画に対して同幼稚名活動を行った際、短期間に園児保護者を中心近隣住民の方々2,567名の署名が集まっています。これは園児保護者や近隣の方々の幼稚園の自然あふれる教育環境を守りたいという強い熱意の表れです。

同幼稚園にびったりの「光あふれる王国」と呼ばれる自然環境を守る学園としてこのよだな教育機関に隣接し、自然環境等に大きな影響を及ぼす高層マンションの建設に断固反対するとともに、建物の高さを低くするなどの計画変更につながるあらゆる手段を講じる所存です。

大学における教員組織の 編成及び職務内容が変わります

成19年4月1日上
に伴い、大学における
教員組織と職務内容が大幅に
わります。これまで大学において
は教授、助教授、「講師」、助手等
から成る教員組織となっていました
が、施行後は教授、准教授、
「助教」、助手から成る教員組
織となるとともに、職務内容も
もそれぞれ下記の通り新たに
定されました。詳細は平成18
年5月17日付文部科学省通知
を参照ください。

学園各大学における 新教員組織	
(大商大)	
(現行)	(変更後)
教授	→教授
助教授	→准教授
専任講師	→専任講師
	→助教
助手	→助手
(神戸芸工大)	
(現行)	(変更後)
教授	→教授
助教授	→准教授
講師	→講師
	助教(新設)
助手	→助手
実習助手	→実習助手
(大阪女子短大)	
(現行)	(変更後)
教授	→教授
助教授	→准教授
講師	→講師
	助教(新設)
助手	→助手

(現行)	
呼称	職務内容等
※ 教 授	学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
※ 助教授	教授の職務を助ける。
■ 講 師	教授又は助教授に準ずる職務に従事する。 注) 学園各大学では助教授と助手の間に位置付けています。

変更後	
呼称	職務内容等
※ 教 授	<ul style="list-style-type: none">特に優れた知識、能力及び実績を有する者。学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
○ 准教授	<ul style="list-style-type: none">優れた知識、能力及び実績を有する者。学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
■ 講 師	<ul style="list-style-type: none">教授又は助教授に準ずる職務に従事する。 <p>(注) 学園各大学では准教授・助教の間に位置付けられますが、将来的になくす方向で検討している設置校もあります。</p>
○ 助 教	<ul style="list-style-type: none">知識、能力及び実績を有する者。学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
○ 助 手	<ul style="list-style-type: none">所属組織の教育研究の円滑な実施に必要な業務を行う。

* 必ず置かなければならぬ職
○ 基本的には置かなければならぬないが、教育研究組織として適切な場合は、置かぬことができる職
士学の判断によろしくどうかを決めることがであります時



市民ギャラリーでの展示の様子

大阪女子短大高校 卒業制作展

平成19年1月27日(土)から1月31日(水)まで大阪女子短期大学高等学校平成18年度卒業制作展が開催されました。

同校の卒業制作展は同校総合コース3年生で芸術シリーズ授業(書道・美術選択者)の成果発表の機会として昨年度から始まりました。また昨年度は藤井寺市民総合会館市民ギャラリーのみの開催でしたが、今年度は会期を延長し、系列校の大蔵商業大学(ユニバーシティホール蒼天)においても展示が行われました。芸術シリーズとは、同校3年総合コース生徒のうち芸術関係に進学希望する生徒らが選択しているので、音楽・美術・書道の3つの専攻に細分化され、週6時間選択授業として、さまざまな作品制作を行ってきました。

展示会場では書道や美術の授業で取り組まれた、漢字・仮名の半紙臨書や絵画、デッサンといった基本的な作品だけでなく、ガラスフュージング、掛け軸、扇子、カレンダー、刻字、全国レベルコンクール出品作品などバラエティーに富んだ力作が揃っていました。

今回の展示作品の中には、樂人27号でも紹介しました「第15回国際高校生選抜書展」での入賞・入選作品や「第27回大阪府高等学校芸術文化祭美術部門・書道部門」での入賞・入選作品も展示されていました。また次年度の美術部門、近畿高等学校総合文化祭のポスターに選出された作品もあるなど生徒たちの作品のレベルの高さに驚かされました。

芸術シリーズ授業を担当された書道の北本先生は今回の卒業制作展全般の感想として「生徒たちはこの2年間、美術・書道の学習を通して様々なことを学んできました。美しさに感動する感性を陶冶すること、先人の方が築き上げてきた伝統を継承すること、自分を表現し新しいものを創造することなど、これらは人間が人間らしく生きるために最も大切なことです。このような大切な事柄を生徒たちは、普段の授業や、展覧会への出品などを通して、一步一步確実に学んでくれたことと思います。」と話してくれました。



次年度の近畿高校総合文化祭ポスターに選出された作品

第1部のグループディスカッションの様子



大阪女子短大 生活デザイン専攻を ライフプロデュース専攻に名称変更

大阪女子短期大学生活科学科生活デザイン専攻が平成19年4月1日より生活科学科ライフプロデュース専攻に名称変更します。

同専攻では、学生に必要な能力を「創造力」「課題発見力」「実行力」「実現力」と捉え、ファッション、インテリア、情報ビジネスなどの専門教育を通して、その必要性に気付かせ、体得されることにより、卒業後どの分野においても活躍できる力を備えた人材の養成に取り組んできました。

しかし、「生活」を一般家庭の暮らしといった家政系のイメージで捉えられたり、「デザイン」を「意匠」といった技術的なデザインとして捉えられると、専攻の意図にズレが生じることになる。そのため、「生活」という名称を一般家庭における暮らしのイメージを更に幅広く、家庭内にどまらない広がりをもつ「ライフ」、「デザイン」という名称を多角的視点から計画し、行動することが求められる「プロデュース」という名称に変更することにより、生活をデザインすることにどまらない、自らの生きかたをプロデュースし、社会生活に情報を発信していくける学生の育成を目指す同専攻の意図を端的に表現することができました。

【学科構成】

(現行)	(平成19年4月1日以降)
生活科学科 生活デザイン専攻 食物栄養専攻	生活科学科 ライフプロデュース専攻 食物栄養専攻
保健科	保健科
幼稚教育科	幼稚教育科



大蔵大が東大阪市教育委員会と連携協定を締結

平成19年2月8日(木)に大阪商業大学と東大阪市教育委員会は、相互の人的・知的交流等を通じて、地元東大阪市における地域教育の振興に寄与するとともに同大学における教育の充実を図るべく連携協力に関する協定を締結しました。東大阪市役所で執り行われた調印式で、谷岡一郎学長と西村保東大阪市教育委員会教育長職務代理者教育次長が「大阪商業大学・東大阪市教育委員会連携協力に関する協定書」への調印を行いました。

同大学では、従前より「瓢箪山地域活性化プロジェクト」に見られる地元東大阪市の地域活性化・振興につながる様々な取り組みを行ってきましたが、この度の協力協定の締結により、今後は更なる取り組みとして以下の事項などにも取り組んでいく予定です。

- ・小学生・中学生の大学生体験学習
- ・小学生・中学生のクラブ活動に対する大学生の支援
- ・教職関係のスクールインターンシップ
- ・東大阪市立の高等学校との連携
- ・地域社会活性化プロジェクトの推進
- ・余暇活動(囲碁・将棋等)への支援
- ・ボランティア活動への支援
- 他



大阪女子短大 公開講座 「クレジット・ カウンセリング —経済的生活不安の 解消のために—」

講演を行う伊東教授

大阪女子短期大学公開講座が平成19年3月1日(木)に同大学グリーンホールにおいて開催されました。講師に伊東真一大阪商業大学経済学部教授を迎え、「クレジット・カウンセリング—経済的生活不安の解消のためにー」を演題に講演が行われました。

現在、クレジットやローンにおける多重債務等は大きな社会問題となっており、講演の中で伊東教授はクレジット・カウンセリングとはそのような事態に陥らないための家計管理及び金銭管理等についてのアドバイスであり、万が一多重債務者となった場合の生活再建を図るためにどう様々な助言であると説明されました。なお、実際に債務を抱えていないとも家計について何らかの不安がある場合には積極的にカウンセリングを受けるようアドバイスをされました。

伊東教授は実際に多重債務者となった学生からの相談に対するアドバイスを行った事例など、多くの実例を交えた講演に、約50名の受講者はメモをとりながら熱心に聞き入っており、有益な講演であったことがうかがえました。



大蔵大 「プレゼン型」 企業セミナーを開催

景气回復に伴い、空前の売り手市場と言わわれている来春の戦線において、大阪商業大学は今までに無いスタイルの「プレゼン型」企業セミナー“企業と学生のための交流セミナー”を2月20日(火)に開催しました。(参加企業は日本ハム、三洋電機、富士通など15社)

「プレゼン型」企業セミナーは、学生と企業のマッチングを探る方法として3部から構成されています。第一部では学生によるグループディスカッションを実施。企業の採用担当者がその様子を観察し、中間投票として興味のある学生の番号を投票します。第二部での企業側によるPRの後、第三部で学生は投票をもらった企業を中心に、各企業ブースを訪問し、採用担当者との面談を行います。(1回20分程度で4回実施)最終的には企業と学生の双方が投票を行い、マッチングした学生は、面接など企業側が行う次の選考へと進んでいきます。

このような「プレゼン型」企業セミナーは、就職意識の高い学生がエントリーするという企業側から見たメリットと、学生にとっても自らの行動や発言などに対する企業側からの生の評価を聞き、今後の就職活動の参考にできるなど双方にメリットがあり、参加した学生並びに企業担当者からも高い評価を得ています。

今回4~39(平均14件)のマッチングを得たことにより、キャリアサポート室では参加した学生並びに企業担当者の意見を反映し、従来型の企業セミナーとともに、今回の「プレゼン型」企業セミナーも並行して実施していく予定です。

神戸芸工大 卒展会場にて 「月刊神戸ウォーカー創刊プレビュー オリジナルCMコンペティション」を開催

神戸芸術工科大学卒展が兵庫県立美術館において平成19年2月16日(金)から18日(日)まで開催されましたが、その初日の2月16日(金)に同美術館内ミュージアムホールにおいて「月刊神戸ウォーカー創刊プレビュー オリジナルCMコンペティション」が行われました。

同コンペティションは株式会社角川クロスマディアウォーカー事業部神戸ウォーカー編集部と同大学との共同企画として開催され、雑誌「神戸ウォーカー」の月刊化並びに新創刊にあたり、創刊プレビューイベントとして行われました。

同コンペは一次審査で企画書の審査を行い、一次審査を通った企画のみCM制作を行い、同日上映されました。50点を超える応募の中から一次審査を通った14点のコンペ上映作品は同大学学生が企画、出演、編集までのすべてを自分たちで行い、いずれの作品も神戸をモチーフにし、「今度神戸に行ってみようかな」と思わせる秀作揃いでました。

審査員は石井聰亘同大学特任教授並びに角川関係者等4名が務め、グランプリ、準グランプリ、神戸賞、審査員特別賞の各賞の選考を行いました。そして厳正な審査の結果、タイトルが「影刻」という神戸市内の影刻作品にスポットを当てた非常にユニークなCMがグランプリを授賞しました。

なお、同コンペで上映された優秀作品は神戸ウォーカーのHPでも公開されています。
(<http://www.walkerplus.com/kobe/>)

是非彼らの力作をご覧ください。

コンペ出品者全員で
記念撮影卒展会場の
様子

編集後記

新年度を控えたこの時期、非常にあわただしく時間が過ぎてゆきます。

時間に追われるよう縋り切りを気にしながら、書類と格闘し、電話でのやり取りなど…どれも自分ひとりでは完結しないことばかりです。こんな状態が続くと、心に余裕が無くなり、つい他の人に対してきつく当たってしまいがちです。普段では何でも無いことでも、忙しい時に限って、無性に腹が立ったり、イライラしたりという経験は誰もあることと思いますが、こんなときほど心に余裕を持ちたいものです。

だいたいイライラしていた時など、イライラの原因が空腹だったかなと思うことおうおうにしてあります。少しお菓子をつまむとか、コーヒー、お茶を飲むとかして、胃を満たしてあげれば、気分転換にもなり、落ち着いてきます。このように気持ちをリフレッシュし、イライラを解消して物事に取り組めば、仕事もはかどる、そんな気がします。

ただし、お腹を満たしすぎると眠気はすぐに、肥満は徐々に襲ってくるので要注意です。

またリフレッシュタイムのとりすぎは、自分のイライラ解消とは逆に周りの人のイライラを誘発するので、ほどほどに。

■ 各設置校の主な予定

4/ 2(月)~5/12(土)	・芸工大図書館貴重書展(ウイリアム・モリス展) [芸工大]
4/ 3(火)	・入学式 [大商大・中女大・中女大短大部]
4/ 4(水)	・入学式 [大阪女子短大]
4/ 6(金)	・入学式 [至学館高校]
4/ 7(土)	・入学式 [大商大高校・大阪女子短大高校・大商大堺高校]
4/ 8(日)	・入学式 [芸工大]
4/ 9(月)	・入園式 [中女大附属幼稚園]
4/10(火)	・入園式 [大商大附属幼稚園]
4/15(日)	・オープンキャンパス [芸工大]
4/29(日)	・ふれあいフリーマーケット [大商大]
5/13(日)	・ふれあい祭り [大商大参加] ・海外大学院入学試験 [芸工大]
5/14(月)	・学園創立記念日 [（学）中京女子大学]
5/17(木)~23(水)	・幼稚園見学 [中女大附属幼稚園]
5/23(水)~31(木)	・春季大学院作品展 [芸工大]
5/26(土)~27(日)	・企業家育成セミナー [大商大]
6/ 2(土)	・企業家育成セミナー [大商大]
6/ 3(日)	・オープンキャンパス [芸工大]
6/ 9(土)	・企業家育成セミナー [大商大]
6/10(日)	・オープンスクール in 至学館 [至学館高校]
6/15(金)	・弁論・コーラス大会 [大阪女子短大高校]
6/16(土)	・企業家育成セミナー [大商大]
6/19(火)	・大学主催進学説明会 [大阪女子短大]
6/23(土)	・企業家育成セミナー [大商大]
6/24(日)	・オープンキャンパス [芸工大]
6/27(水)	・大学主催進学説明会 [大阪女子短大]
6/30(土)	・企業家育成セミナー [大商大]
7/14(土)	・編入学試験 I [中女大]
7/15(日)	・大学院学内推薦入試 [中京女子大]
7/22(日)	・オープンキャンパス [大商大・大阪女子短大]
7/28(土)	・オープンキャンパス [大商大]

※各行事等の詳細については各校のHPにてご確認ください。

本学園における個人情報の取扱いについて

学校法人谷岡学園(以下「本学園」という。)では、個人情報の重要性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し、利用します。

また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

個人情報取扱業者の名称及び氏名:

学校法人谷岡学園 理事長 谷岡一郎

個人情報の取扱いについての問合せ窓口

学校法人谷岡学園 法人本部 総務課

個人情報取扱係 電話:06-6781-0384

大阪商業大学
経済学部助教授
学生カウンセラー
佐野 茂

聴く・聞く ハとの大切さ 一人と人をつなぐ第一歩

学校生活のみならず職場や家庭生活全般において、人と人が快適な生活を過ごすためには、人の話をじっくり「聴く・聞く」という態度が不可欠です。しかし昨今の子どもや若者にとって、また少數ながら親も教師もこの「聴く・聞く」という行為が大変むずかしいものになっています。

1 「聞く」から「聴く」へ

「聴く・聞く」とは文字通り音声を認識することですが、「聴く」と「聞く」ではその内容が少し違います。「聞く」は自然に入ってくる音声を受身的に認識することですが、「聴く」は積極的に耳を傾け、言葉や音声の背後にある感情や本質をしっかりと読み取ろうとする行為です。生徒や子ども同士では、まず人の話を「聞く」という態度で十分ですが、親や教師にとっては子どもや生徒の話を「聴く」ことが教育・関わりの第一歩だと考えます。

2 コミュニケーション能力としての「聴く」こと

コミュニケーション能力ではどうしても表現力が評価されがちですが、私はうまく表現できなくても、「聴く」ことができれば、それは立派なコミュニケーション能力だと考えています。それは聴こうとする行為、態度が相手を理解しようとする意思表示・表現(コミュニケーション)に他ならないからです。むしろ、流暢に表現するよりも、上手く「聴く」ことこそが高度で大切なコミュニケーション能力ではないでしょうか。

3 他者を大切にする行為の第一歩も「聞く・聴く」ことから

授業中の私語が多いことに心苦しく思っていますが、それは「私語」が「聴く」と全く対極の行為であるからです。私語ほど他者に対する無視、無関心な行為はありません。私語が授業において日常的になっているクラスで、人権教育や道徳教育、また命を大切にする教育を高々に講じても何の意味もありません。「いじめ」もあたりまえのものとなるでしょう。その意味で人の話をしっかりと「聞く・聴く」ということは他者を大切にする、想(おも)うことの第一歩であるわけです。

それでは、どのようにして子ども達に人の話を「聞く・聴く」能力を身につけさせるか。答えは簡単です。親・教師が日常生活において子ども、生徒達の話をじっくりと「聴く」ことからはじめればいいのです。